



東山魁夷《夕紅》1996

魁夷90年の生涯をたどる

2011年2月3日(木)～3月29日(火)

休館日:毎週水曜日

絵になる場所を探すという気持ちを持って、ただ無心に眺めていると、相手の自然のほうから、私を描いてくれと囁きかけているように感じる風景に出会う。その、何でも無い一情景が私の心を捉え、私の足を止めさせ、私のスケッチブックを開かせるのである。

『風景との対話』1967年 新潮社

No.	作品名	ルビ	制作年	分類	取材地
本制作					
1	窓	まど	1971	本制作	ドイツ ローテンブルク
2	瀧江暮色	りこうぼしよく	1978	本制作	中国 桂林
3	夕紅	ゆうくれない	1996	本制作	デンマーク
4	夕星	ゆうぼし	1999	本制作	
5	自画像		1923	油彩	
初期のスケッチ 東北・信州の旅					
6	雪国		1940～1945	スケッチ	
7	雪国の家		1940～1945	スケッチ	
8	雪の山村	ゆき さんそん	1940～1945	スケッチ	
9	横手にて	よこて	1940～1945	スケッチ	秋田県 横手市
10	冬の海辺	ふゆ うみべ	1940～1945	スケッチ	
11	寒風	かんふう	1940～1945	スケッチ	
ドイツ・オーストリアの旅					
12	家並	いえなみ	1969	スケッチ	ドイツ
13	酒場の看板	さかば かんばん	1969	スケッチ	オーストリア
14	ザルツブルクの看板		1969	スケッチ	オーストリア ザルツブルク
15	居酒屋	いざかや	1969	スケッチ	オーストリア デュルンシュタイン
16	絵のある窓		1969	スケッチ	ドイツ ベルヒテスガーデン
17	憩いの窓	いこい まど	1969	スケッチ	ドイツ ローテンブルク
18	野の花		1969	スケッチ	ドイツ オーバー・ゼー
19	ティロルの窓		1969	スケッチ	オーストリア ザンクト・アントン
20	ローテンブルクの泉	いずみ	1969	スケッチ	ドイツ ローテンブルク
古都を描く					
21	窓明り		1969	習作	ドイツ リューベック
22	古都遠望	ことえんぼう	1969	習作	ドイツ ヴィムブヘン
23	狭い空		1969	習作	ドイツ バンベルク
24	坂道の家		1969	習作	オーストリア クレームス
25	青きドナウ		1969	習作	オーストリア メルク
26	みつづみ		1969	習作	ドイツ オーバー・ゼー
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 中国風景					
27	桂林月宵 試作	けいりんげつしょう しさく	1979	スケッチ	中国 桂林
28	太湖の朝	たいこ あさ	1976	スケッチ	中国 太湖
29	瀧江の朝	りこう あさ	1976	スケッチ	中国 桂林
30	山峡の月	さんきょう つき	1976	スケッチ	中国
31	孤帆	こほ	1976	スケッチ	中国
32	水光	すいこう	1976	スケッチ	中国
33	瀧江満々	りこうまんまん	1976	スケッチ	中国
34	桂林山水	けいりんさんすい	1976	スケッチ	中国 桂林
北欧風景					
35	白樺の丘		1962	スケッチ	スウェーデン レトヴィック
36	青い沼		1962	スケッチ	デンマーク ディアハーヴェン
37	ベルゲンの家		1962	スケッチ	ノルウェー ベルゲン
38	波止場の家	はとば いえ	1962	スケッチ	ノルウェー
39	運河沿いの街		1962	スケッチ	デンマーク コペンハーゲン
40	エルシノアの街		1962	スケッチ	デンマーク エルシノア
大和春秋					
41	春日野朝霧	かすがのあさぎり	1973～1985	スケッチ	奈良県 春日野
42	古陵薄明	こりょうはくめい	1973～1985	スケッチ	奈良県 箸墓
43	霧の朝	きり あさ	1973～1985	スケッチ	奈良県 春日大社
44	萱生にて	かよう	1973～1985	スケッチ	奈良県 萱生
45	唐招提寺月明	とうしょうだいじげつめい	1973～1985	スケッチ	奈良県 唐招提寺

唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 日本の風景					
46	岩礁	がんしょう	1973	スケッチ	
47	朝濤	ちょうとう	1973	スケッチ	
48	潮声	ちょうせい	1973	スケッチ	
49	流れる霧	なが きり	1973	スケッチ	
50	緑の溪	みどり たに	1973	スケッチ	
51	「瑞光」試作	ずいこう しさく	1980	鑑真和上像厨子 絵のための準備作	
52	縦の木 A		1973	スケッチ	
53	縦の木 B		1973	スケッチ	
カット・デザイン等					
54	夢の詩 羽根美しければ美しい鳥		1996	リトグラフ	
55	夢の詩 身長ければ影長く、身短ければ 即ち影短し		1996	リトグラフ	
56	夢の詩 幸福とカラスは壊れ易い		1996	リトグラフ	
57	夢の詩 接吻の後に義務が伴う		1996	リトグラフ	
58	夢の詩 空手にて鳥を捕うるは難し		1996	リトグラフ	
59	夢の詩 黒い鶏でも白い卵を生む		1996	リトグラフ	
60	夢の詩 水魚の交り		1996	リトグラフ	
61	夢の詩 青年に酒は飛び馬に鞭		1996	リトグラフ	
62	夢の詩 棚の上にあまり多くの壺をのせるな		1996	リトグラフ	
63	夢の詩 女は鶯で、男はこれに絡まれた 櫻の木だ		1996	リトグラフ	
64	夢の詩 今日紅顔、明日は死		1996	リトグラフ	
65	夢の詩 天使について語れ、然らばその 羽音を聞こう		1996	リトグラフ	
66	三島由紀夫著『獣の戯れ』挿絵A		1961	カット・その他	
67	三島由紀夫著『獣の戯れ』挿絵B		1961	カット・その他	
68	連作「東京」・その他のカット		1959	カット・その他	
69	『馬車よゆっくり走れ』カット		1971	カット・その他	
その他・資料					
70	旅だより			画帖	
71	草花手習帖 上		1938	画帖	
72	草花手習帖 中		1938	画帖	
73	草花手習帖 下		1938-39	画帖	
74	東山魁夷遺品一式				
ピエゾグラフによる代表作					
75	白馬の森		本制作 1972	ピエゾグラフ	富士山五合目のブナ原生林
76	緑響く		本制作 1982	ピエゾグラフ	長野県 茅野市 蓼科高原 御射鹿池

* 展示作品は都合により変更となる場合があります。

ピエゾグラフとは

ピエゾグラフは、セイコーエプソン(株)のインクジェットプリント技術の総称で、再現性の高さと繊細な仕上がりが特徴です。原画の表面の凹凸や陰影、絵具の重なりまで再現可能です。

日本画は特に保存が難しい美術作品です。長野県信濃美術館・東山魁夷館の東山作品も将来に遺すために公開期間を年約2ヶ月間に制限しています。一年をとおして東山魁夷の代表作をお楽しみいただくため、当館では東山すみ夫人監修のもと、セイコーエプソン(株)のご協力により、ピエゾグラフ作品をご寄贈いただきました。

* ピエゾグラフおよびエプソンピエゾグラフは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

東山魁夷(ひがしやまかい) 略歴

明治41年(1908)横浜に生まれ、3歳のとき神戸に移る。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8年(1933)ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22年(1947)特選受賞。31年(1956)日本藝術院賞受賞。40年(1965)日本藝術院会員となる。44年(1969)文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画を制作。平成11年(1999)5月6日逝去。享年90歳。

東山魁夷館

東山魁夷は、東京美術学校の学生時代から信州へのスケッチ旅行を重ね、信州について、「わたしの作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2年(1990)、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。(収蔵作品は現在約960点)

作品の分類について

「本制作」:主に展覧会への出品を前提に日本画の岩絵具で描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」:東山魁夷自身による分類で、スケッチが実景の写生であるのに対し、習作は構図や色彩に作者なりの解釈をよりほどこしたもので、内容的には本制作に一歩近づいたものといえるでしょう。